

地域環境ジュニアパトロール

活動報告書

グループ名	GREEN EARTH 97
-------	----------------

テーマ	学校周辺（浄土寺川・児童公園）ゴミ調査
-----	---------------------

メンバーの氏名	学校名	学年
西 雄介	勝山中部中学校	1年
阿部 吉麿	勝山中部中学校	1年
松井 潤	勝山中部中学校	1年
吉川 広幸	勝山中部中学校	1年
西村 英明	勝山中部中学校	1年
石畝 裕明	勝山中部中学校	1年

指導者氏名	松村 千里	教職員
-------	-------	-----

1 テーマを選んだ理由

勝山中部中学校は自然環境に恵まれ、学校の横には九頭龍川に流れこむ浄土寺川が流れています。しかし、よく目を凝らせば、美しかった浄土寺川は心ない人たちによって多くのゴミが捨てられています。また、学校の近くには児童公園が2つあり、放課後小学生が遊んでいます。しかしここもまたおかしなどのゴミが散乱しています。僕達社会福祉部では放課後の部活動で浄土寺川と2つの公園の清掃活動に取り組んできました。ここで今回、集めたゴミを分類してそこから何がわかるのかを調べて見ることにしました。

2 調査の方法

一学期に浄土寺川の水辺の公園掃除をしたり、公園掃除をしたりして、捨てられるゴミに関心を持つようになりました。そして、いくらゴミを拾ってもすぐにゴミがたまってしまうのはどうしてなのか考えるようになりました。

そして、夏休み中に、パトロールをする計画を立てました。

〔調査実施手順〕

- (1) 部員を川グループと公園グループに分けて、日時を決めてゴミを集めて分類する。

8月15日から31日までの午後3時から4時まで。

- (2) 川や公園は広いので、調べる範囲を決める。

- ・川の場合 幅約1メートルで学校前から向こう岸までの20メートルのゴミを拾う。
- ・公園は、特にゴミが多ところを10メートル四方に固定して、そのゴミを拾う。

- (3) 全員で集めたゴミをどのように分類するか話しあう。

- (4) どうしてそんなゴミが出たのか話し合い、学校祭で発表する。

3 結果について（話し合いの結果）

川調査グループ 川調査グループ

- ・ゴミのほとんどが、生活用品でした。（ゴミの袋など）
- ・生ゴミも結構ありました。（じゃが芋など）
- ・空缶類は草の根本にひっかかるようにありました。ほとんどがさびていて長いことそこにあったことがわかります。トタン板の様な物もありました。
- ・葦の根本にはくさって何がなんだか分からないようなゴミがたくさんありました。ひっぱって見ると布のような感じでした。
- ・浄土寺川は思ったより、水が少なく、流れの無いところには、腐った水が少し流れいて、その水は赤く錆びたような色でした。また表面には油が浮いていました。
- ・水が流れている所は川幅のほんの少しで、その幅は約1メートルほどでした。そこはとても深くなっていて、底に何がたまっているのか調査できませんでした。



公園調査グループ

(果物の空き容器) 空き缶の調査

- ・ 2つの公園で大きな違いがありました。それは、米村公園では金属の釘の様なものが多かったことです。よく調べてみたら、米村公園の前の食料品店が公園のすみでゴミを燃やしており、ダンボールなどの箱に使われている止め金が燃え残ってそれがゴミとなっていたということです。
- ・ また、山田公園ではガラスのゴミがたくさんありました。ガラスはビンが割れたものです。たぶん、飲物の容器を遊具にぶつけて割ったのではないかと考えました。
- ・ どちらの公園にもスナック菓子の袋がとてまたくさんありました。毎日のように拾ってもいつもバケツに2杯分を集めることができました。夏なのでアイスの袋なども多く見つけました。空き缶などは木の陰や草むらに隠す様に捨ててありました。
- ・ 放課後の小学生があまり遊んでいなくて、ゴミばかり多いのが不思議な感じがしました。
- ・ 何を調べたいのかによって、ゴミの分類の方法がいくつもあることを知りました。今回は材質によって分けてみましたが、捨てた人別で調べたら、断然子どもが多いこと、また商店のゴミなどは特定の人がゴミを出し続けていることもわかりました。
- ・ 山田公園はあまり人が利用していない感じなのによくゴミが落ちています。それはごみ箱がこわれているからではないかと思いました。米村公園はお年寄りがよく公園掃除をしています。それはゲートボールをしているからです。人がたくさん使う公園だからといってゴミが多くなるわけじゃないこともわかりました。



全員のまとめ

調査期間中に集めたゴミは、以下のように分類をしました。分類の方法は、いろいろあり、私達もまよいましたが、結局ゴミステーションでの分類に少し手を加えて分類しました。

燃えるゴミ	・ お菓子など食品関係	・ おもちゃなど遊具関係
	・ 家から出る生ゴミ	・ 家から出る生活ゴミ（買物袋など）
燃えないゴミ	・ ジュースなどの空缶	・ ジュースなどの空ビン
	・ その他の金属	
その他	上に入らないもの	

調査期間中は、これらのゴミを集め、どんどんためていました。でも、その量をどう表すかが、なかなか決まらないのでこまりました。数を数えると、小さなものでも、1個だし、大きなトタンも1個でおかしい気がしましたし、重さをくらべると、お菓子の袋はたくさんあるのにほとんど重さがありません。とにかく、集めてから考えようと、学校の農具舎に分類しておいておきました。

ところが、9月に入り、集めたゴミをくらべようとしたら、私達の集めたゴミが全部捨ててありました。たぶん先生が処分してくれたのだと思います。

そこで、実は、9月になってから、部活動の時間にもう一度同じ調査をしました。それを学校祭の発表の資料として使いましたので、この報告はその資料をのせます。

〔表-1 表-2 表-3〕

結局、量はくらべにくいのでひろった時に「よく見つかったか=◎」、「見つかったか=○」、「あまりない=△」、「ない」に分けてみました。

公園のゴミは、私達の予想よりもだいぶん多く、その種類の多さもびっくりしました。市の中心の中央公園などよくゴミがすてられると思うのに、すぐにきれいになっています。ちょっと不思議でした。また、米村公園と山田公園は、ほんの300mぐらいしか離れていないのに、ゴミの種類に差がありました。たぶん、遊びに来る子ども達の遊びの内容がちがっているのだと思いました。また、公園のとなりにあるお店が、山田公園はお菓子屋さんで、米村公園は小さなスーパーマーケットであることも関係があると思いました。

浄土寺川のゴミは、部員によって、多いと感じた人と少ないと感じた人が半々でした。

表-1 米村公園 9月2日、5日

大分類	小 分 類	個数や大きさ
燃える ゴミ	A お菓子の袋	○
	B アイスのゴミ	○
	C おもちゃ・ゲームのゴミ、 (ガチャ、ガチャなど) 玉、 花火の残り、BB弾	◎
	D 野菜など	△
	E 食品の袋など	△
	F 買物の袋など	△
	G 飲み物のパック	△

大分類	小 分 類	個数や大きさ
燃えない ゴミ	A ジュースなどの空き缶	○
	B ジュースなどのビン	△
	C ピンやクギなど	◎
	D 家作りのものなど	ない
	E ペットボトル	○
その他	A 大きなビニールなど	○
	B 野球ボール	△
	C タバコ	◎
	D 電池	○
	E 衣類	○

表-2 山田公園 9月2日、5日

大分類	小 分 類	個数や大きさ
燃える ゴミ	A お菓子の袋	◎
	B アイスのゴミ	○
	C おもちゃ・ゲームのゴミ (ガチャガチャなど)	◎
	D 野菜など	ない
	E 食品の袋など	△
	F 買物の袋など	○
	G 飲み物のパック	◎

大分類	小 分 類	個数や大きさ
燃えない ゴミ	A ジュースなどの空き缶	◎
	B ジュースなどのビン	◎
	C ピンやクギなど	△
	D 家作りのものなど	ない
	E ペットボトル	○
その他	A 大きなビニールなど	○
	B 大きな油缶	1個
	C 野球ボール	△
	D タバコ	△

表-3 浄土寺川の中 9月3～4日

大分類	小 分 類	個数や大きさ
燃える ゴミ	A お菓子の袋	○
	B アイスのゴミ	○
	C おもちゃ・ゲームのゴミ (ガチャガチャなど)	○
	D 野菜など	◎
	E 食品の袋など	◎
	F 買物の袋など	◎
	G 飲み物のパック	◎

大分類	小 分 類	個数や大きさ
燃えない ゴミ	A ジュースなどの空き缶	◎
	B ジュースなどのビン	○
	C ピンやクギなど	○
	D 家作りのものなど(トタン板、 板など)	◎
	E ペットボトル	○
その他	A 大きなビニールなど	○
	B カサ	○
	C 洗剤などの容器	◎

表の見方 ◎ よく見つかる ○ 見つかる
 △ あまりない

4 メンバーの感想

空缶などが多くて、それらは中に泥がたまっていて沈んでいました。またトタンなどの金属の板があってびっくりしました。紙類などはほとんどなくて多分流れていったのでしょう。燃えないゴミのプラスチックは腐らないまま見つかりました。こうしたものはリサイクルにまわして少しでもゴミを減らしていきたいと思いました。洗剤の使用も最小限にしてほしいと思いました。僕はこの調査から人間はゴミ箱には見向きもしないでポイすてをしているのだと感じました。

(阿部君)

管理する人を作ってほしいと思います。(西村君)

僕はビニール袋などをもらわないで自分の持ってきたカバンなどに買い物の品物を入れて帰れば、ビニールをむだにせずに、さらにゴミは少なくなると思いました。(石畝君)

川の回りに足の切れる植物がたくさん生えていて、ほとんど管理されていないくてとてもあぶないと思いました。(西君)

私は袋のゴミなどが多いと予想していましたが、缶やビンは当たり前のように、ドラム缶やパンツや靴下まであった。しかもガラス片までめずらしくなかった。恐い公園だ。(松井君)

花火のもえがらがたくさんありました。夜に高校生や中学生が遊んでいるのだと思います。ロケット花火はゴミが飛び出したままになるので、掃除することは自分でできません。おもしろい花火だけど拾う人のことを考えると、勝手な遊びだと思いました。でもぼくもたくさんしました。良い方法はないかと考えたけどありません。(前田君)

5 指導者の感想

浄土寺川や公園のゴミ分析は毎年実施している。しかし、ここ数年その環境が改善された様子は全く感じない。特に川環境は「水辺に親しむ」を課題にした公園整備事業が浄土寺川においても実施されているが、作られた公園には人の気配はなく、1年を待たないで、雑草の茂る所となっている。子供たちの目から見て、私たち大人の行ないははたして受け入れられているのだろうかと思う。公園などを作ったから終わりではなく、作った後の事業が大切なのではと思う。

また、捨てられる事が前提のおもちゃ（花火など）、捨てられると危険な容器など捨てる人への対策も大人の責任として考えなくてはと思っています。

たかがゴミ拾いですが、生徒と共に多くのことを考えさせられました。



社会福祉部として参加したので、本当は全員で13人います。

写真は、川の掃除の時に写した物です。